

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 166	提案機関名 JAかながわ西相
要望問題名 水稻の新品種検討について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県では近年の夏季の高温により水稻において高温障害がとても多く、一等比率が特段に下がっているため、それに対応できる品種の検討を早急に行う必要があると考えます。 キヌヒカリやコシヒカリについては「はるみ」が同様の新品種と考えられる中、さとじまんについて必要と考えられます。 中生品種で高温や倒伏に強く、穂発芽しにくい、収穫適期が長いなどの条件を満たした上に食味がよいことも十分に必要なことです。ので検討をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	① 実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 水稻奨励品種決定調査事業			
対応の内容等 神奈川県的主要品種である‘キヌヒカリ’と‘さとじまん’は高温に弱く、品質の低下が問題となっています。そのため、水稻奨励品種決定調査事業において、早生品種は高品質と良食味、中生品種は高品質、良食味と病害抵抗性を重点に選定し、‘キヌヒカリ’、‘さとじまん’に代わる品種の選定を行っています。併せて、高温耐性評価を行い、高温でも安定し、耐倒伏性に強く、穂発芽しにくい品種の選定を行っていきます。 現在、収穫適期の長い品種は選定目標にしていませんが、有望品種が選定された場合には、収穫時期と「胴割れ」、「着色米」等の障害粒の発生割合を調査し、収穫適期を明らかにしていきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			